

20170718 御前崎小学校 海洋体験学習 『海を感じ、海を学ぶ』

■ねらい：

海のアクティビティを体験し楽しむことから、海への愛着心を育む。そして、御前崎の海が抱える現状について意識を向ける。

■参加対象・人数：御前崎小学校 4年生、生徒数39名(2クラス)、教員3名

～1日目～

■日時：7月18日(火) 活動時間 8:30～14:30

■集合・活動場所：マリンパーク御前崎

■持ち物：軍手

■スケジュール：(雨天中止)

- 8:20 御前崎小学校 出発
- 8:40 マリンパーク 児童集合、全体ガイダンス、着替え
- 9:00 Pro1: ビーチクリーン開始
- 9:15 ビーチクリーン終了、活動ガイダンス、準備
- 9:30 Pro2: G1 ビックサップ練習開始
- 9:45 G1 休憩(水分補給、トイレ)
G2 練習開始
- 10:00 G2 休憩(水分補給、トイレ)
G1 ビックサップ練習開始 ～2回目
- 10:15 G1 休憩(水分補給、トイレ)
G2 練習開始 ～2回目
- 10:30 練習終了、休憩(水分補給、トイレ)
- 10:45 ビックサップレース開始
- 11:15 レース終了、成績発表
- 11:30 昼食
- 12:00 ウェットスーツ着用、午後活動準備
- 12:30 ポイント移動
- 12:45 Pro3: スノーケリングで海中の生きもの観察
マスク・スノーケルの使い方等
- 13:15 入水、海中観察
- 14:00 活動終了、クラブハウスへ移動
- 14:20 着替えガイダンス、シャワー、着替え
- 14:45 ふり返り、次回のガイダンス
- 15:00 活動終了、マリンパーク出発
- 15:15 御前崎小学校 到着予定

※当日の天候により朝からウェットスーツ着用。その場合、午前の時間は10分ずつ後にずれる。

■プログラム

Pro1 : ビーチクリーン

Point : これから活動を行う海岸のビーチクリーンをすることで、安全に活動する為の配慮、自然への配慮を体験的に学ぶ。

Pro2 : ビックサップ

Point : 自然の中での遊びを楽しむ。同時に、仲間と協力することの大切さ、競い合うことであきらめない心の大切さを感じられるよう促しを行い、体験的に養う。

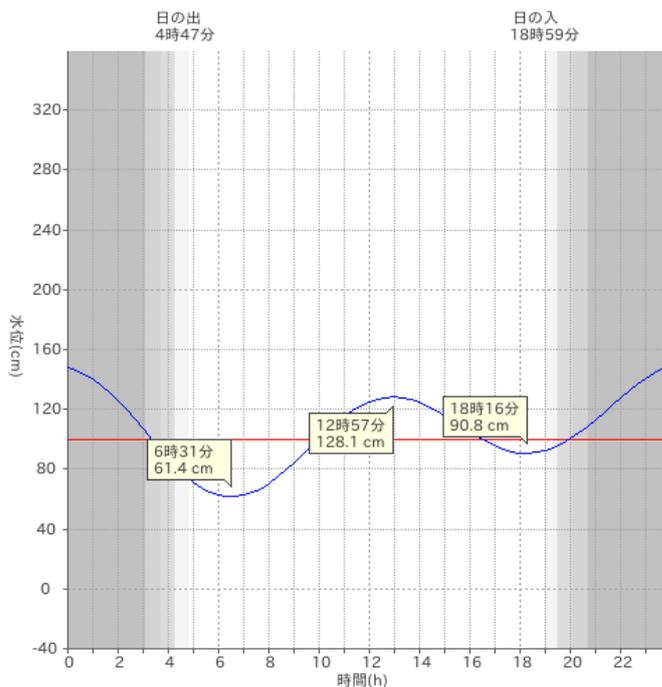
チーム編成 : 赤組、白組の2グループに分かれ、各組2チームを編成する。

編成されたチームで団結力が持てるよう、チーム名を決める(事前)。チーム後と練習を行なう。練習を待っている間は、レースに向けた作戦会議時間とする。

各レースをチームごとで争わせ、総合結果で順位を決める。

Pro3 : スノーケリングで海中の生きもの観察

Point : マリンパーク西堤防沿いをスノーケリングで観察。海中の生きものを観察し、海の豊かさを観察する。



20170913 御前崎小学校 海洋体験学習 『海を感じ、海を学ぶ』

■ねらい：

海のアクティビティを体験し楽しむことから、海への愛着心を育む。そして、御前崎の海が抱える現状について意識を向ける。

■参加対象・人数：御前崎小学校 4年生、生徒数39名(2クラス)、教員3名

～2回目～

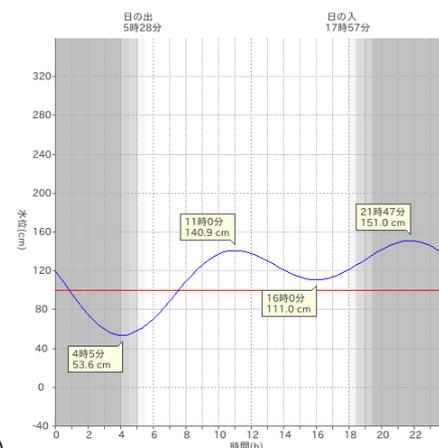
■日時：9月13日(水) 活動時間 8:30～14:30 (スタッフ時間 7:00～)

■集合場所：坂下P(薄原駐車場)

■活動場所：坂下海岸～ロングビーチ～渚の交番P

■スケジュール：(雨天中止)

- 7:00 スタッフ集合、打合わせ、準備
 8:15 受け入れスタンバイ
 8:10 御前崎小学校 バス到着
 8:20 御前崎小学校 バス出発
 8:30 坂下P 児童集合、全体ガイダンス
 8:50 尾高海岸方面に向けて出発
 尾高海岸手前で漂着物観察&ビーチクリーン開始
 9:50 坂下P到着次第 ビーチクリーン終了、休憩(水分補給、トイレ)
 拾ったゴミは、軽トラックに乗せマリンパーク コンテナボックスへ
 10:10 坂下P出発
 ロングビーチを歩きながら海岸観察
 (道中、潮の満ち引き・砂浜の現状についての話し)
 11:20 渚の交番下P到着予定、休憩(水分補給、トイレ)
 11:40 振り返り
 12:00 活動終了、学校に向けて出発
 片付け
 12:30 終了予定



■プログラム

Pro1：漂着物観察・ビーチクリーン

Point：海岸に漂着するモノを集め、分類分けをして観察を行う。自然の豊かさ、海が陸や他の国と繋がっていることを感じる。また、人工物を観察することで、私生活で出るゴミについても考えられるよう促しを行う。

また、これから活動を行う海岸のビーチクリーンをすることで、安全に活動する為の配慮、自然への配慮を体験的に学ぶ。

Pro2：海岸観察

Point：海や砂浜を観察することで、波の発生メカニズムや離岸流について、砂浜の現状について学ぶ。また、いざと言う時の為の、波への対応方法なども学ぶ。

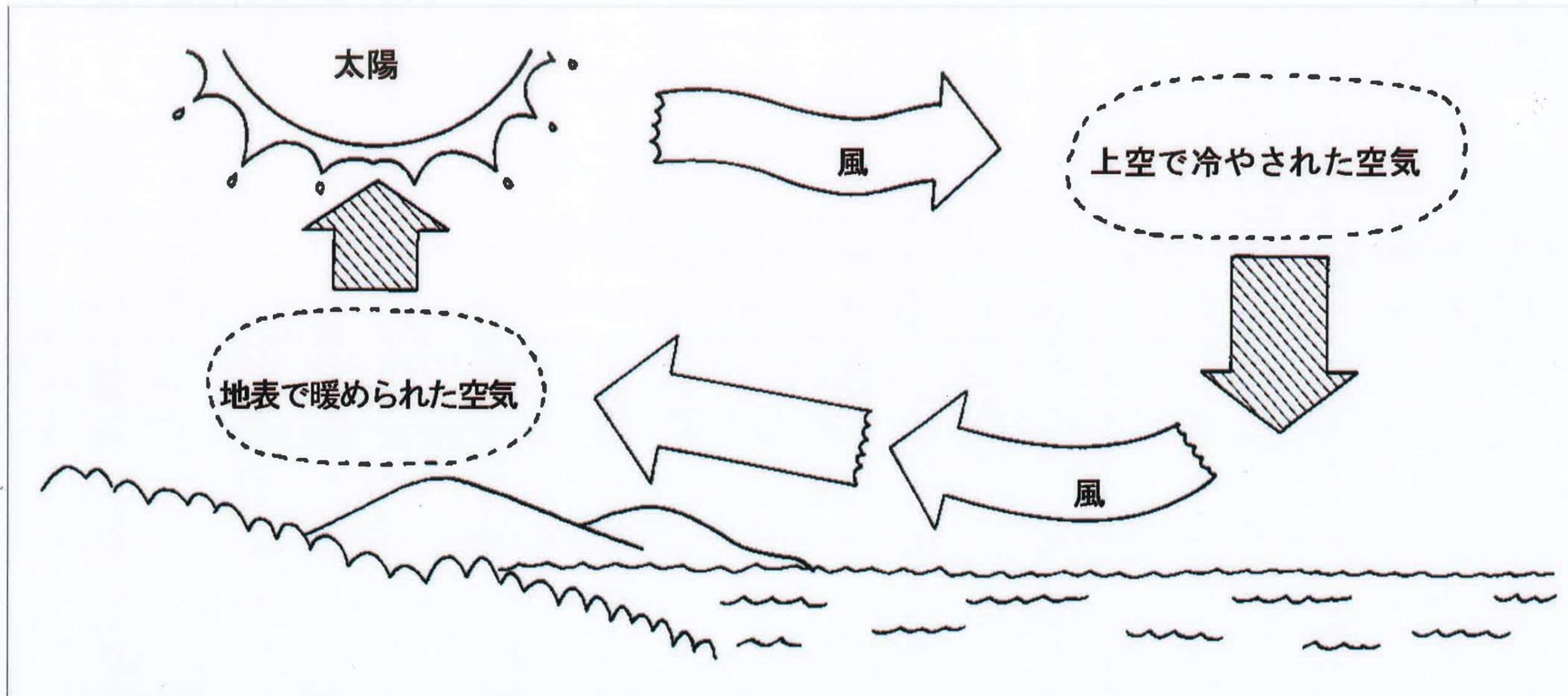
御前崎の海で、今、 起こっていること

- ・たくさんのゴミの漂着
- ・砂浜の減少
- ・海藻の減少

...他には何が考えられるだろうか??

風がどうして起こるか

地表が太陽に照らされ、空気が暖かくなりふくらみ、軽くなって上昇する。そして空で冷やされ縮んで重くなった空気が下りてくる。それ以外にもいつも吹き続けている偏西風なども影響している。



波はどうしてできるのか？

- 波はほとんどは風によってできる！

（干満の差や津波などもある）

お風呂や、水を張ったバケツなどに口で息を吹きかけてあげれば、そこには「波」が起こります。それが沖で起こり、陸地近くの浅い所まで届いた場合は浅瀬に押し上げられる形で波高が高くなり、波の頂上から崩れだしブレイクする。

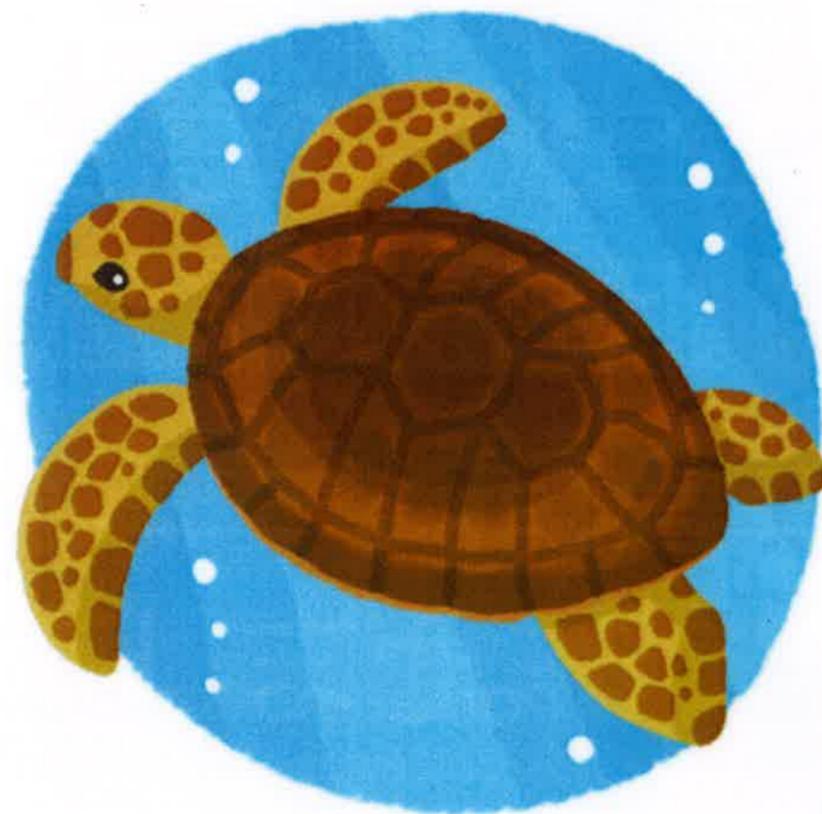


砂が減少すると、どうなる??

- ・安全に海で遊ぶことができない。
- ・越波により沿岸の建物や道路の基礎が被害を受け、崩落が起こる。
- ・砂浜に生息する生きものが減り、生態系が崩れる。
- ・魚(食料)が減る。

砂が減少すると、どうなる??

- ・産卵場所が減少。
- ・砂浜にゴミが多いと、安全に産卵できない。
- ・砂浜に生息する生きものが減り、エサが減る。
⇒ゴミをエサと間違えて、
食べてしまう。















なぜ、磯焼け(海藻が減少) するのか？

- ・都市や住宅、農村から河川を通じて流入する洗剤や工業廃水、農薬などによる海洋汚染。

- ・地球温暖化による海水温の上昇。
それに伴う、海流や気候の変化。



サガラメ:

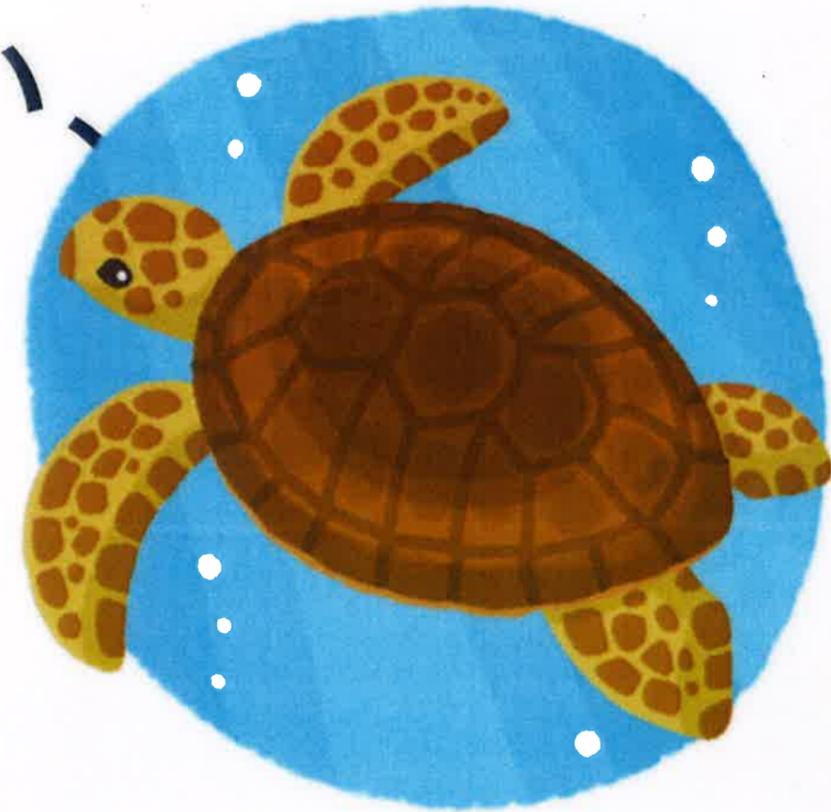
御前崎周辺では、平成12年頃までに消失。

磯焼けが進むと、どうなる??

- ・光合成が行われず海中が酸欠状態になる。
 - ・藻場に生息する生きもの(アワビやサザエ、カサゴやメバルなど)が減少。
 - ・水産資源が減少し、漁業に大きな影響がでる。
- ⇒この状態が続くと、『海の砂漠化』が起こってしまう。

磯焼けが進むと、どうなる??

- ・エサとなる貝や甲殻類なども減ってしまい、そこでは暮らしていけない。
- ・隠れる場所が無くなってしまい、安心して暮らしていけない。





1970
45A



2019





2001



2014